

ミツバ岳山行報告

【山行日】2023年 4月 2日(日) 曇り後晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 6:00
【費 用】マイカー1台 : 4500円
【メンバー】CL:鈴木、SL:藤原ト 青柳、飯口、飯野、植竹、小林、嶋田、福島、藤原7
【コースタイム】岩舟支所P6:00=寺ノ沢P8:00/8:15
~ミツバ岳登山口 8:25~ミツバ岳 9:30/9:45~
権現山 10:15/10:25~756mピーク 11:20/11:55~
浅瀬入口バス停 12:35~丹沢湖記念館
P12:55/13:05=道の駅「やまきた」13:15/13:30=
岩舟支所P16:05



今年ミツマタの開花時期が異常に早くすでに見頃は過ぎたようで、花が残っているか心配しながら岩舟支所を出発した。圏央道から東名高速に入るが、渋滞も無くスムーズに通過出来大井松田ICで降りる。国道246号線を西に進み、清水橋交差点を右折し県道76号線に入り道の駅「やまきた」でトイレを済ませる。そのまま県道76号線を北上し丹沢湖に掛かる永蔵橋を渡ってすぐ左折し、丹沢湖畔を進み寺ノ沢駐車場に着く。駐車場はすでに満車だったが、湖畔寄りの空スペースに何とか車を止められた。駐車場の枝垂桜が満開で、丹沢湖をバックにとっても美しい。出発の準備を整えストレッチを行って出発する。駐車場から道路を左に進み、滝見橋を渡ると直ぐにミツバ岳登山口の標識があり、右に山道に入る。いきなり急坂を登るようになり、息を切らせながら無言で登って行く。しばらく登ると伐採した杉で作られたジグザグの登山道になり、皆さんの会話が聞こえるようになる。杉林の中に付けられたジグザグの登山道をのぼると、所々にミツマタの花があり疲れを癒してくれる。只、見頃は過ぎていて、色が白くなった花だが皆さん喜んでいました。杉林の登山道が続き、同じような景色に飽きたころ杉林を抜け明るい自然林の道に変る。小休止してゼリーや菓子をいただき、振り返ると新緑の山々に山桜のピンク点在し美しい。ここからは傾斜が緩やかになり、杉林を抜けるとミツマタの花が見られ間もなくミツバ岳山頂に着く。小さな山頂標識の前で記念写真を撮り、すぐ先のミツマタ群生地に移動して休憩を取る。晴れていれば杉林の向こうに富士山が見え、富士山とミツマタの花のコラボが見られるが、今日はあいにくの曇り空で見ることが出来ない。



皆さんミツマタの花の前で写真を撮り合い、最盛期は過ぎていたがミツマタの花の中を歩いて楽しんでた。ここから権現山に向かって下って行くが、左側はスギ林で右側は自然林の尾根を下って



行く。途中、右側の自然林の中にミツマタが群生する場所があり、こちらはまだみずみずしさが残っている。鞍部から急登を頑張って登り、木立に囲まれた権現山山頂に着く。テーブルやベンチがあるが先客が使用しており、少し先まで移動して平坦な場所で小休止する。この先から急な下りになるが、手前に「踏み跡不明瞭につき、初心者の通行不向き」との看板が立っている。皆さんに急降下が続くので慎重に下るよう注意を促し、ゆっくり下って行く。下り切った鞍部から

登り返したピークが菩薩山で、大勢のツアー登山者がリーダーからレクチャーを受けていた。暫くかかりそうなので奥に移動し、木の根に腰かけてランチタイムとする。お湯を沸かしてカップ麺やスープを作り、おにぎりやパンを美味しくいただいた。ランチが済んだら山頂を後にし、浅瀬登山口に向かって下山開始する。ここからは緩やかな尾根歩きになり、ヤブツバキやキブシの花を見ながらのんびり下れる。やがて発電用の導水管の脇を下ると、樹林帯の中を九十九折れに下って行き、階段を下ると浅瀬登山口に着く。ここから見る丹沢湖の新緑と山桜のコラボが素晴らしく、



皆さん「綺麗！」と感動していた。ここからは皆さんは永蔵橋を渡って丹沢湖記念館で待つようにし、我輩とF島さんと寺ノ沢駐車場に車を取りに行く。丹沢湖に沿って道路を歩いて行くが、枝垂桜や山桜の花を楽しみながら歩ける。カメラマンの方達が枝垂桜を撮っていて、我輩も丹沢湖をバックに枝垂桜をカメラに収める。寺ノ沢駐車場で車を回収したら丹沢湖記念館に向かい、待っていた皆さんを乗せて帰路につく。途中、道の駅「やまきた」に寄り買い物し、皆さん筍や柑橘類を購入していた。我輩も筍と

シフォンケーキをお土産にゲットしたが、今年初めての筍は柔らかくてとても美味しかった。帰路の東名高速や圏央道は渋滞も無く順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着した。